

須恵剣友会強し！

九州産業大学学長旗争奪

少年剣道大会で初優勝

第15回九州産業大学学長旗争奪少年剣道大会が、10月31日（日）に同大学体育館で開催されました。

この大会に、須恵剣友会が出場し、団体戦の部で見事初優勝しました。

大会は、粕屋地区・宗像地区・筑紫地区・福岡市東区から招待された、小中学生60チーム、420人が参加しました。

大将を務めた長澤友美さんは「中学生最後の大会で優勝できてよかったです。来年も

優勝旗を持って帰れるよう、後輩にがんばってもらいたいです」と話していました。

優勝チーム選手（敬称略）

先鋒 百田 尚生（小4）
次鋒 大久保亮良（小4）
五将 増田 隼汰（小6）
中堅 諸石 浩明（小5）
三将 伊東 聖弘（小5）
副将 島末 智子（中3）
大将 長澤 友美（中3）



日高榛花さん大健闘

福岡県女子剣友会剣道大会が、10月23日（土）に福岡市南体育館で開催されました。

この大会に、須恵剣友会が出場し、日高榛花さんが個人戦の小学2年生の部で大健闘して準優勝をものにしました。大会は、福岡県内から集まった小中学生の女子が参加して行われました。

みんなで勝ち取った2回目の優勝！

第25回記念毎日新聞社旗争奪少年野球大会の決勝が、11月3日（水）に須恵町運動公園で開催されました。

この試合に、須恵ファイティングスピリッツ（黒岩政信監督）が出場して、穂波町の対戦チームを破り4年ぶり2回目の優勝を勝ち取りました。

この大会には、全34チームが参加して本町からは、同チームのほか3チームが出場しました。

同チームの、谷将太主将は「1年間の締めくくりになる、毎日杯で優勝できたことはとてもうれしいです。代表・監督・コーチ・父母の方々、本当にありがとうございました。また、試合を通じて応援してくれたOBの方や、運営してくれた連盟の方々、一緒に戦ってきたチームのみんなに感謝します」と話していました。

若水林道に道標設置

須恵町自然教育林審議会（吉松輝会長）が、11月2日（火）に若水林道とささやきの小径に道標の設置作業を行いました。道標は全部で22か所設置され、同会員6人が参加しました。

作業を行なった会員は「この道標は、方向と距離が書いてあります。これを見ながら山歩きを気軽に楽しんでいただきたいです」と話していました。



須恵分館2連覇！

第51回町制施行記念駅伝競走大会

第51回町制施行記念駅伝競走大会（須恵町主催・須恵町教育委員会主管）が、11月21日（日）に開催されました。

大会は、須恵第三小学校をスタートして、晩秋の須恵路を巡し、健康広場にゴールするコース（全19・08キロ、9区間）で健脚を競い合い、須恵分館が優勝し、大会2連覇しました。

大会には、分館の部に15チーム、各種団体の部に6チームの合計21チームが参加しました。

大会当日は、天候にも恵まれ、選手たちは、大変良いコンディションの中を走りました。町内のコース沿道では、応援する人たちの拍手と声援であふれ、地域住民と選手たちが一体となっていました。

大会結果は、次のとおりです。

駅伝大会結果

部門	順位	チーム名	タイム
分館の部	1	須 恵	1時間09分02秒
	2	乙 植 木	1時間12分00秒
	3	上 須 恵	1時間12分21秒
	4	佐 谷	1時間12分37秒
	5	城 山	1時間15分06秒
	6	大 島 原	1時間15分13秒
	7	山 の 神	1時間17分17秒
	8	旅 石	1時間17分36秒
	9	南 米 里	1時間17分51秒
	10	一 番 田	1時間18分23秒
	11	新 原	1時間18分28秒
	12	昭 穂	1時間18分44秒
	13	西 原	1時間19分58秒
	14	甲 植 木	1時間22分52秒
	15	藤 浦	1時間29分37秒
各種団体の部	1	陸上自衛隊	1時間12分42秒
	2	須恵町役場	1時間15分08秒
	3	須恵クラブ	1時間16分32秒
	4	ランナーズ	1時間17分38秒
	5	本 合	1時間19分16秒
	6	成 雅 会	1時間31分30秒



大規模災害を想定した図上訓練を実施

佐谷区を対象とした災害図上訓練（福岡県主催）が、11月11日（木）に佐谷集落センターで行われました。

この災害図上訓練とは、参加者が地図を使用しながら災害発生時の状況把握や応急対策について、時間経過を追ってシミュレーションをする、極めて実践的な訓練です。

参加者は、佐谷区の地図上に被害箇所や要注意場所、安全な避難場所などを記入して状況を把握し、それに対する対処法などを熱心に習得していました。

消防団が模擬火災訓練



須恵町消防団（吉松安雄団長以下170人）による、模擬火災訓練が11月14日（日）旅石区において行われました。訓練は、建物火災を想定して午前8時10分のサイレンを合図に、各分団から車輛10台と団員110人が参加しました。水利から火点まで各分団がホースとポンプを中継して放水し、訓練を行いました。